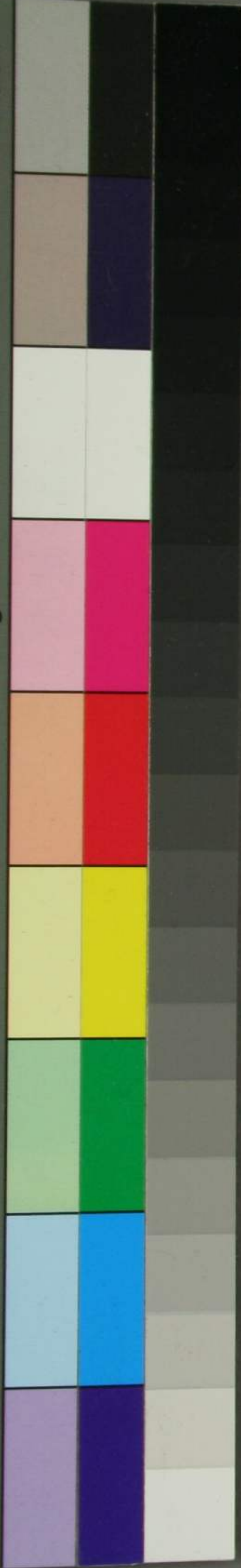


LICENSED PRODUCT
3/Color
White
Magenta
Red
Yellow
Green
Cyan
Blue



燕子花百瓶

内編

ヲ多
1570



門 多 9
瑞 1570
卷

題插燕子花百瓶之畫

天地者萬物之父母也卜友老師
之愛插花猶父母也斯技雖小豈
易哉烈風雷雨也木石所偃直之
有規四方雅士咸慕之歸如市寫



藏

師斷及古稀仍好遊化遠近之取
化頃採撰插燕子花五體而番面
之且題口號以述之教而化生者
屈伸其規具備寫嗚呼斯技曷
易哉其至陰陽表裏配合之妙豈

不謂小乙地耶近世孫運路人泣
多岐逢步若一危蹶然陷大澤
如斯書經未盡爰蘊奧然在嗜
也之道足明為之標嗚呼誠勤
兵互哉悞者多矣詩云自東

自西自南自此三無不服於此
師亦云字蘇三年亥初復

熊谷直達漁道



自序



草木乃心之土地信陽乃神
乃之土地信陽其神を草木
中心や寸毫て五ツの心を
造化してあり川を心

みふふれはく地陰陽の神也
千茲美木の乃花を中敷す
そ何る辺に居るのそ
を旨こして一心寂靜智を
三地乃神より索るしこ

神の心美木の乃花を中敷す
まろ世屈曲舒曲も風動
声波乃形す美木の八人懐の
乃子美木の何れを起し地乃
心美木の枝葉形なり御

私乃之し語を用む寸草木
自然なる草木の習ふむ五臓
五腑の象りをして地乃
神を慰め五根五臟五味
五業の統理りを信じて草木

と云ふ一む處に第一の要也
神の草木の性を教ふハ
之を自然なる草木の形を
五臓五腑の象りをして以て
草木の統理に似て諒一

ちやんしよかきんしよこお生
およ得かたし誠し溜しこて
摸索の罪せを怖しこ
しんしよもあこし社中か
すしめよまらそこみ一種乃

お生千ヶ一を傳号石編子
書ゆしこし十の花園
を集りせよ公よすらるを
何し守唯社盟の一助ももこ
梓よ棲りて以て燕子子花

石瓶と名付るものなり

一時文化元甲子年初夏

招月半古流法眼一為居士

乃統拙松家方 丑大坊下友



燕子花石瓶図式

之例



○一花の形を多し事今通作りの形也

四六の割を用ゆ事餘種の草亦

其形寸

○一花の衝に花より今後通用を偶

件と前よ倣をり、二角の刻多規お
通例と用る也

○一花辨用の居り信陽五行の辨と半月
よ象りの中二分かの刻成なる事何れも
お定りたる花辨の規お也

○蔓子花お生傳子を附録して系組
等の事繁に成二十文字とてお多
よの一種の傳とする也

○茎よ亦よ系組多しとてとも一花は成時
と一茎の系組之枚よ初より一
傳也

○花茎とて五辨五行の刻と附系組

とてそと河をとりり事餘種の草木
も同し

○初葉五葉之形餘種も同じこいこい
一種を花莖と割と附初花莖花初花
の生方をあつし事肝要の傳也

○初花を割りて花莖質より花莖
花莖は一寸たり寸多分短し先ハ一莖
さすし乃成しと傳とてあつし
○莖花を莖質より伸葉組莖と習し
この由は古生花成し葉組の葉に
方よおわてり傳と

○殘花を花莖屈曲と形し葉組も莖

子形をむて相よここのゆつは花辨、ゆ成
ま夕六ヶ変らものゆ上手西葉こ

○初盃辨のゆ成時假の通しとせぬを
定式之ゆ化ともま時の花茎の思より
て初花の時盃花よゆ成或を辨花よ
此月にも盃花の辨よゆ成ともこたの

ゆ成にゆ成とせぬ

○初盃辨らも蒸組一茎之枚之ゆ成よ一茎
まゆりゆるゆをゆ成の湯ゆ(之枚生
と奥髪よすゆこつと傳こゆゆて秘傳
形事とある下

○初傳の秘伝と五枚の蒸よりゆゆ了と

以上傳之を茎より少たる糸を用ひ根の
傳ありて五枚も一茎の辨別れも五枚
と二茎入りありて五枚と傳授かる
らしめんとする也

○一茎二枚をお生しませし自然の葉の生成
時を骨辨の生方と云ふ處に之よりて

初んを許す事明しく傳之は又一茎
一葉の生方は為一茎二枚の糸組より
も重に傳授し也

○イチハ蕪子アヤノ花ハナシヤウフ口シヤカ糸イ生キ方フ一八ヒアウキ葛ヒ花ク葛キ浦ウ式フ尾フ
附干管ヒアウキの糸生方ヒアウキかきいへて口糸ヒアウキ受も
初盛辨ヒアウキの生方ヒアウキより口糸ヒアウキの生方ヒアウキの糸ヒアウキの糸ヒアウキ

かき川をたよほ寸魚う寸

○紫菜他偷草落のたれも蛇もくお生
小てかき川をくこよ口くこさるも花と友
時を蛇もく崩れてまあ形くかき川を
口根こつうをゆ寸知れらも紫菜崩れ
たる時を蛇もく糸組車くそ花茎をまよ

時を隈りよゆ寸是も初盛時形く
時を初盛時をたぬ時を若生の時を
初花尾花をまよけたるを年血花尾花
と生して十寸トスシ形たる時を初花と呼下
○玄を越子花の事と身一うそ條の八
葛花葛浦等のしとつう及寸こさ

らもお生かす月とく口根の字も初盡
殊の生方分こ何るうこ形くもく智
人乃もあまこみの例の一條もお寸まのこ
右かき月しくお牛の例千ヶ一を記するこ
あしくを附録するまの傳を以て
おる川あや

燕子花百瓶 浪花形初盛抄

内編之始

海雲堂書



浪花

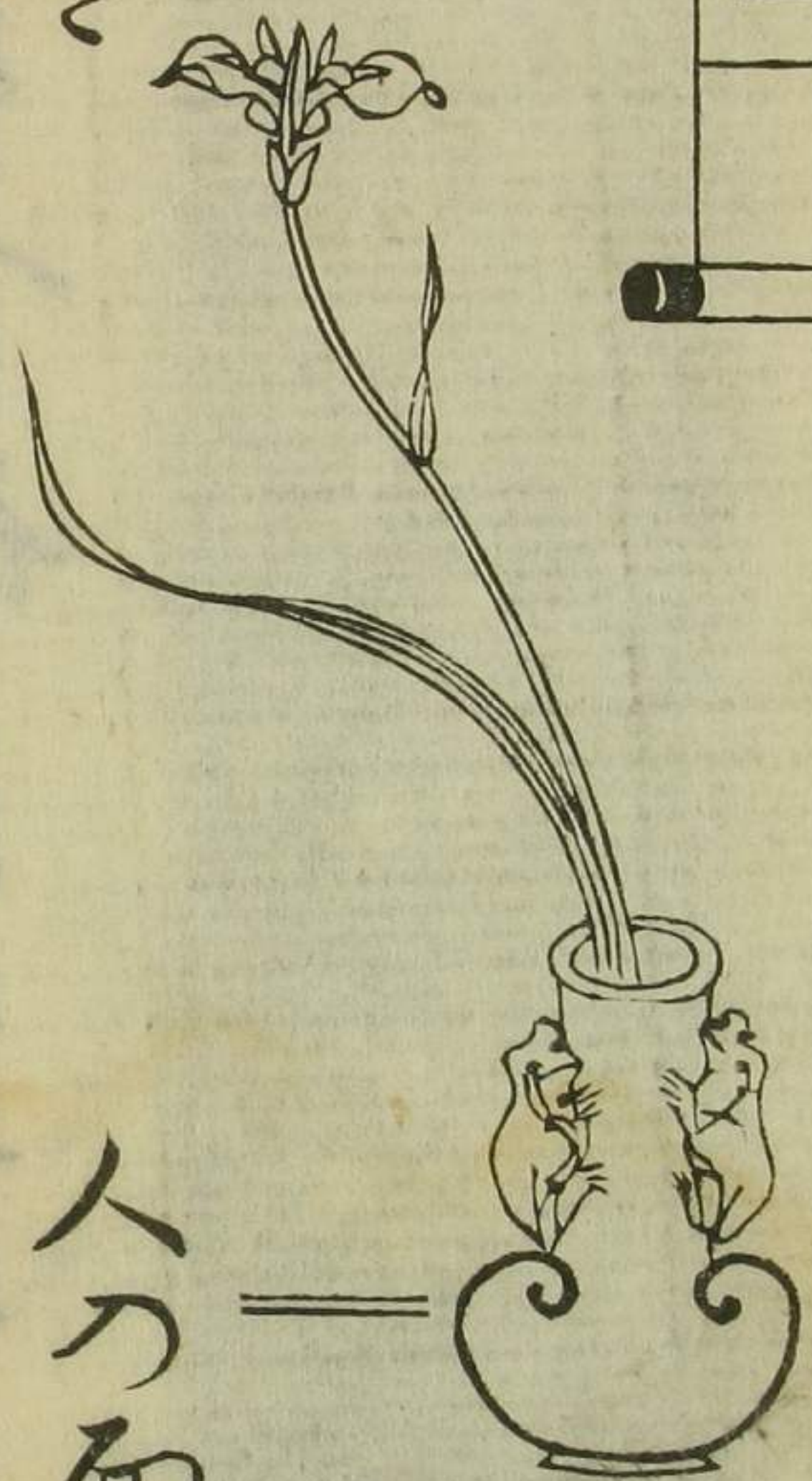
龜齡軒主人蒞菜



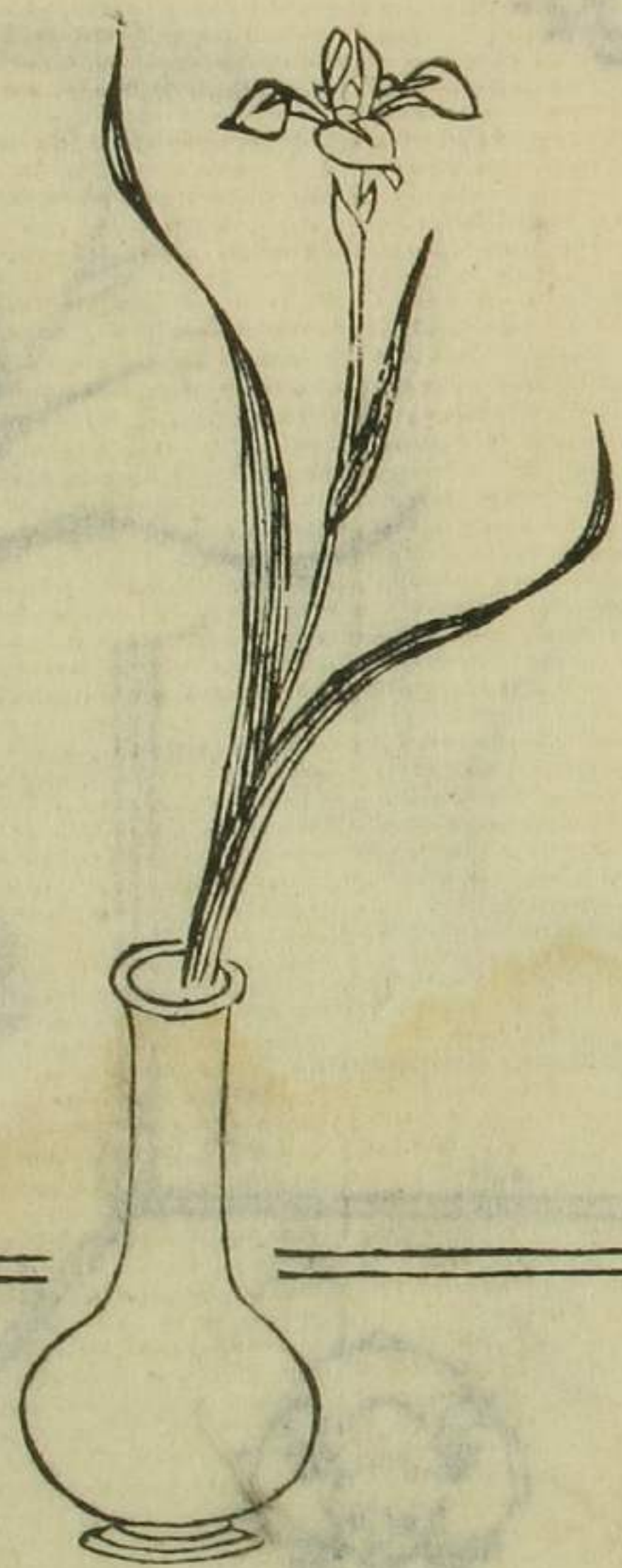
加

はしを州川る花瓶をむりー魚たてぬ

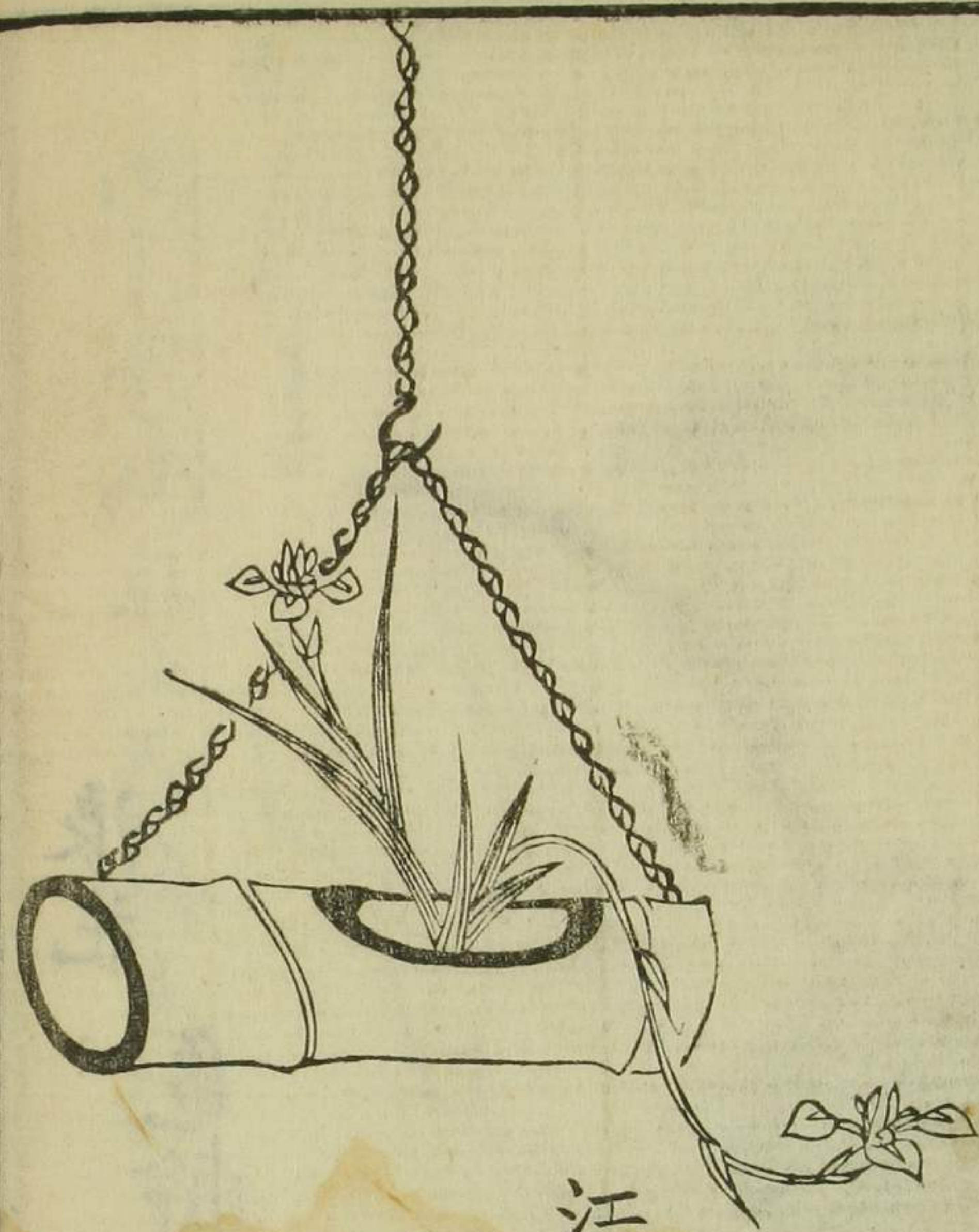
人の面影ト女



法眼一露居士遺花



京都
二光庵主人卜天



江府
是心軒主人
一調

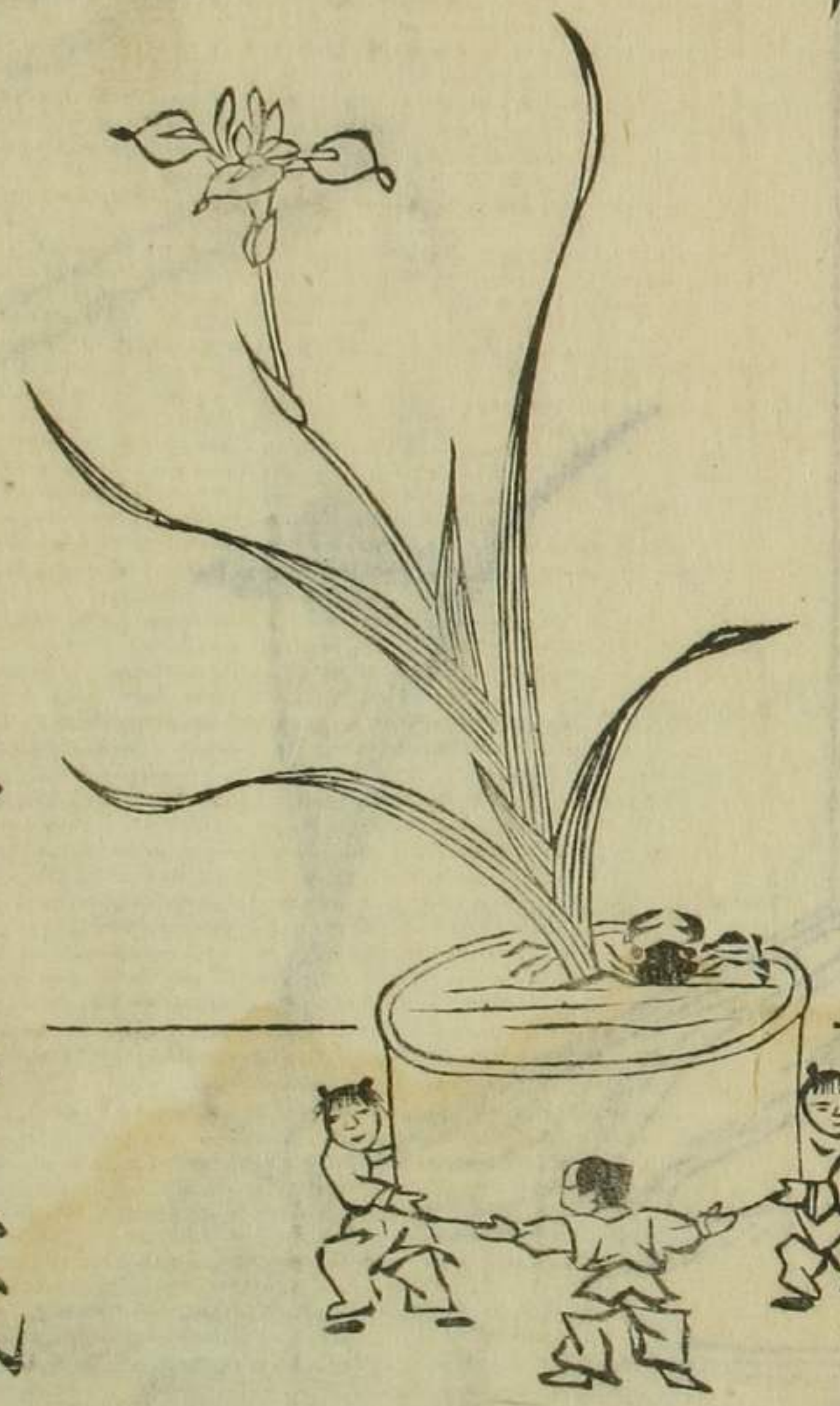
盛花乃好
水多



洛東
照臨庵主人

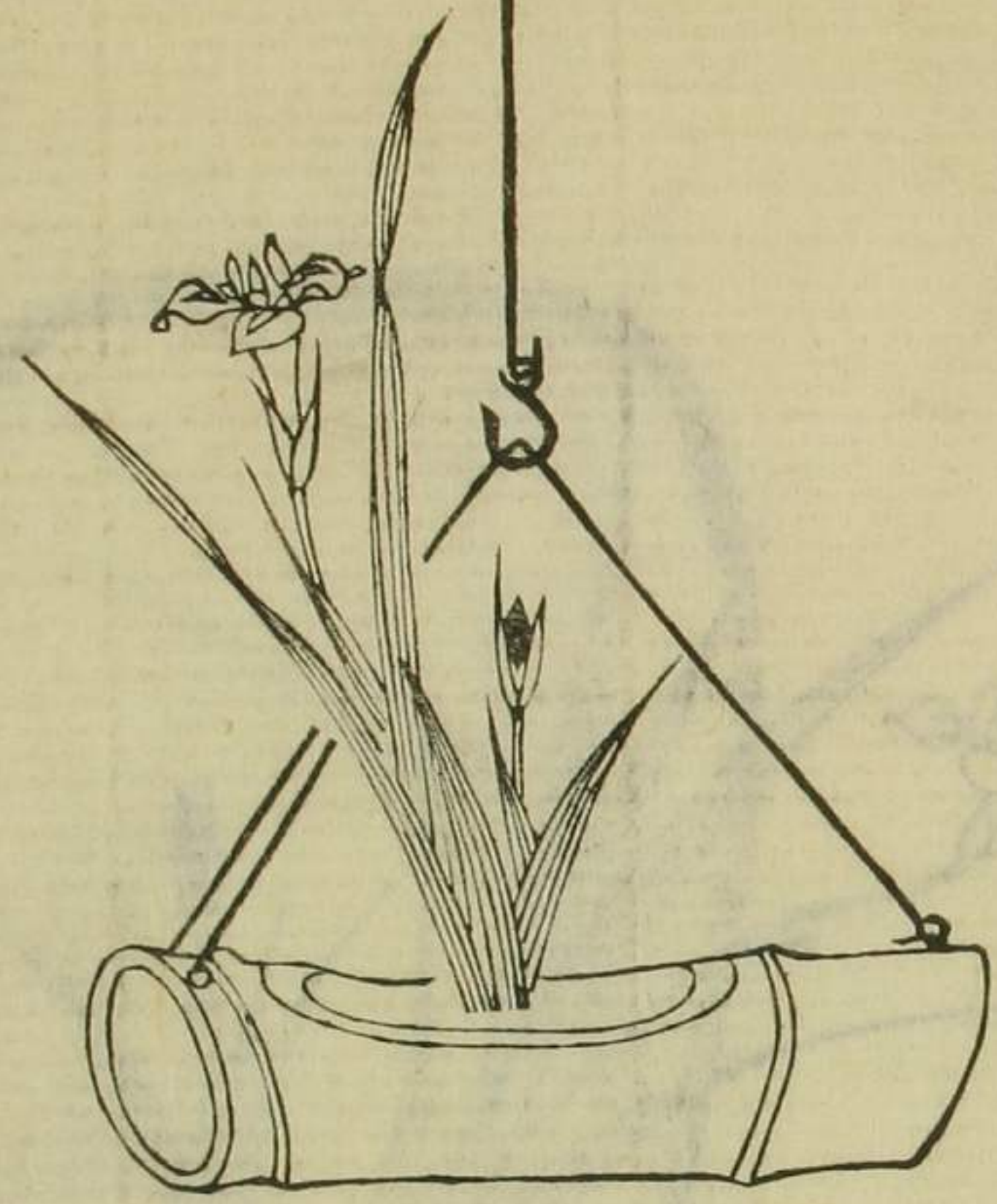


花乃好
水多



江戸
安東氏
五柳軒

初花



泉列岸藩士

瀧氏義治

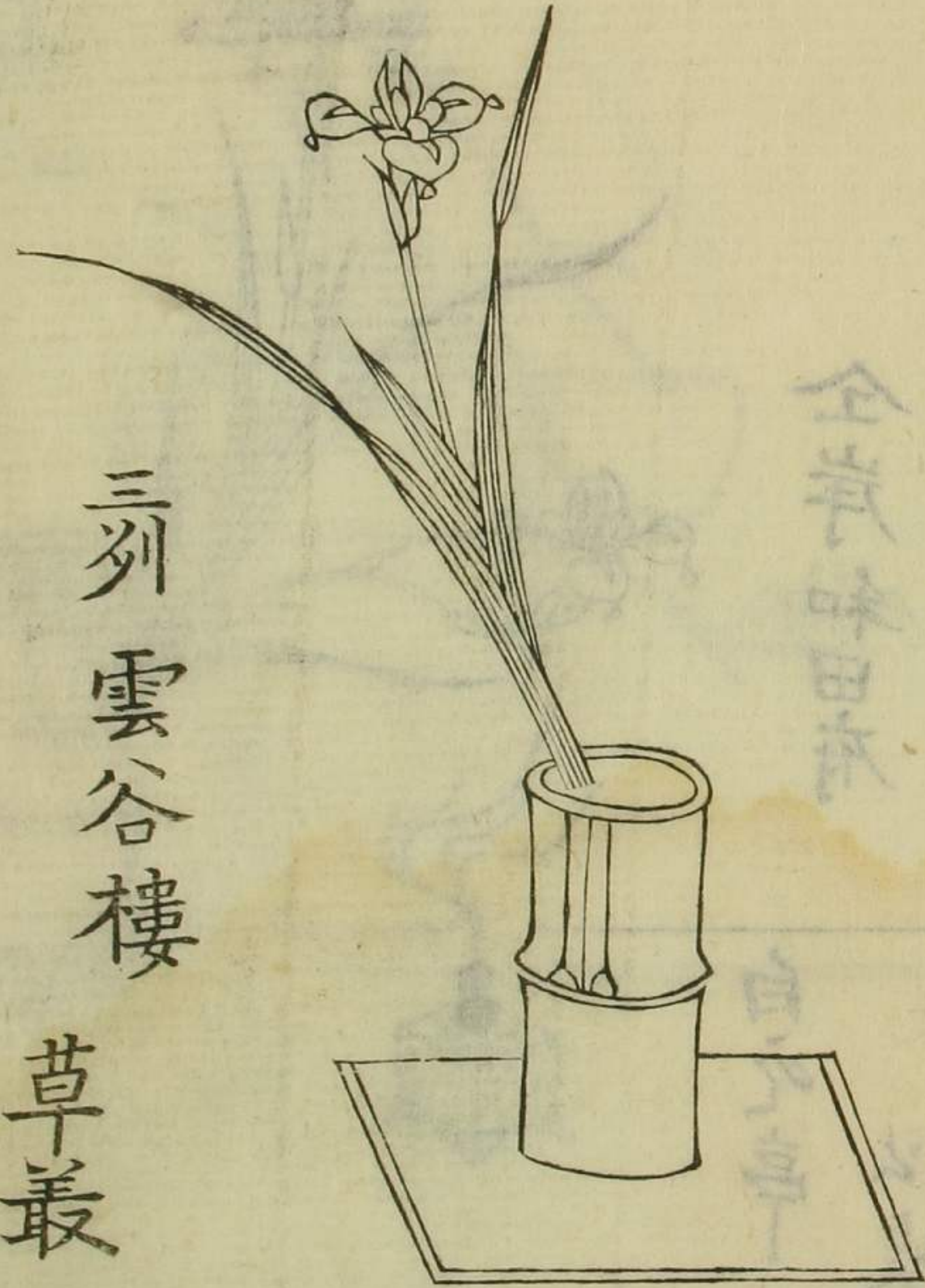


泉列春木

海雲堂普治



初花



三列雲谷樓

草叢

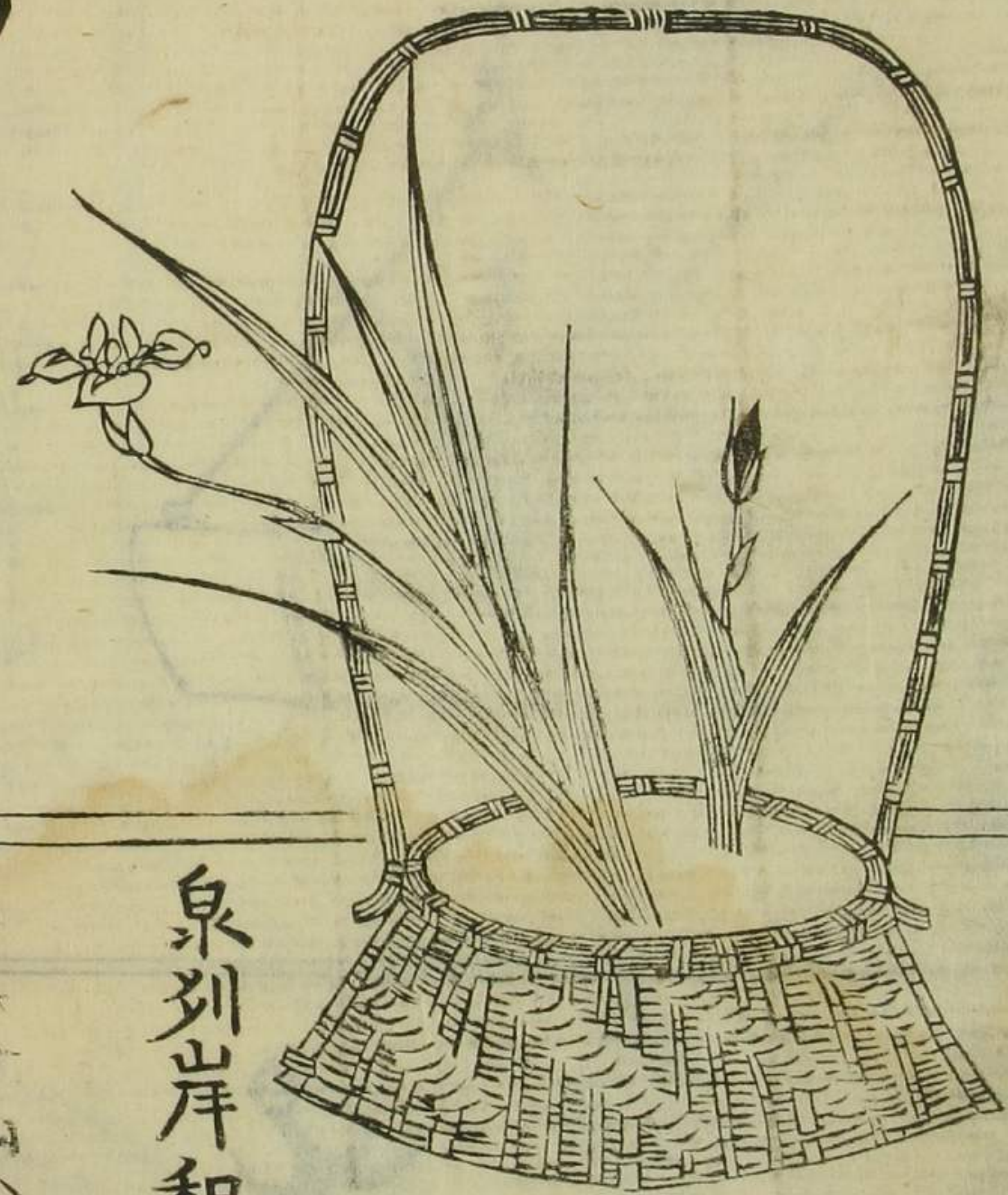
遊

全

白

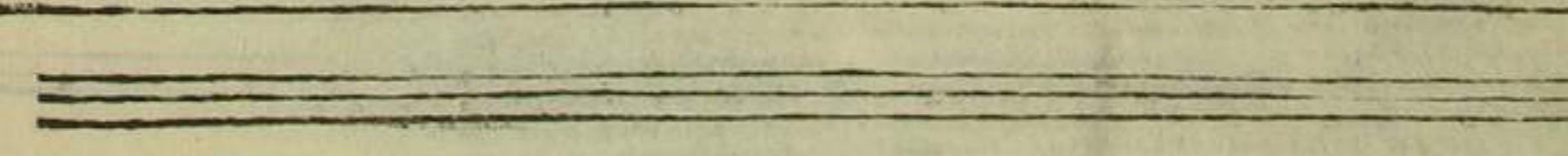
初花

み

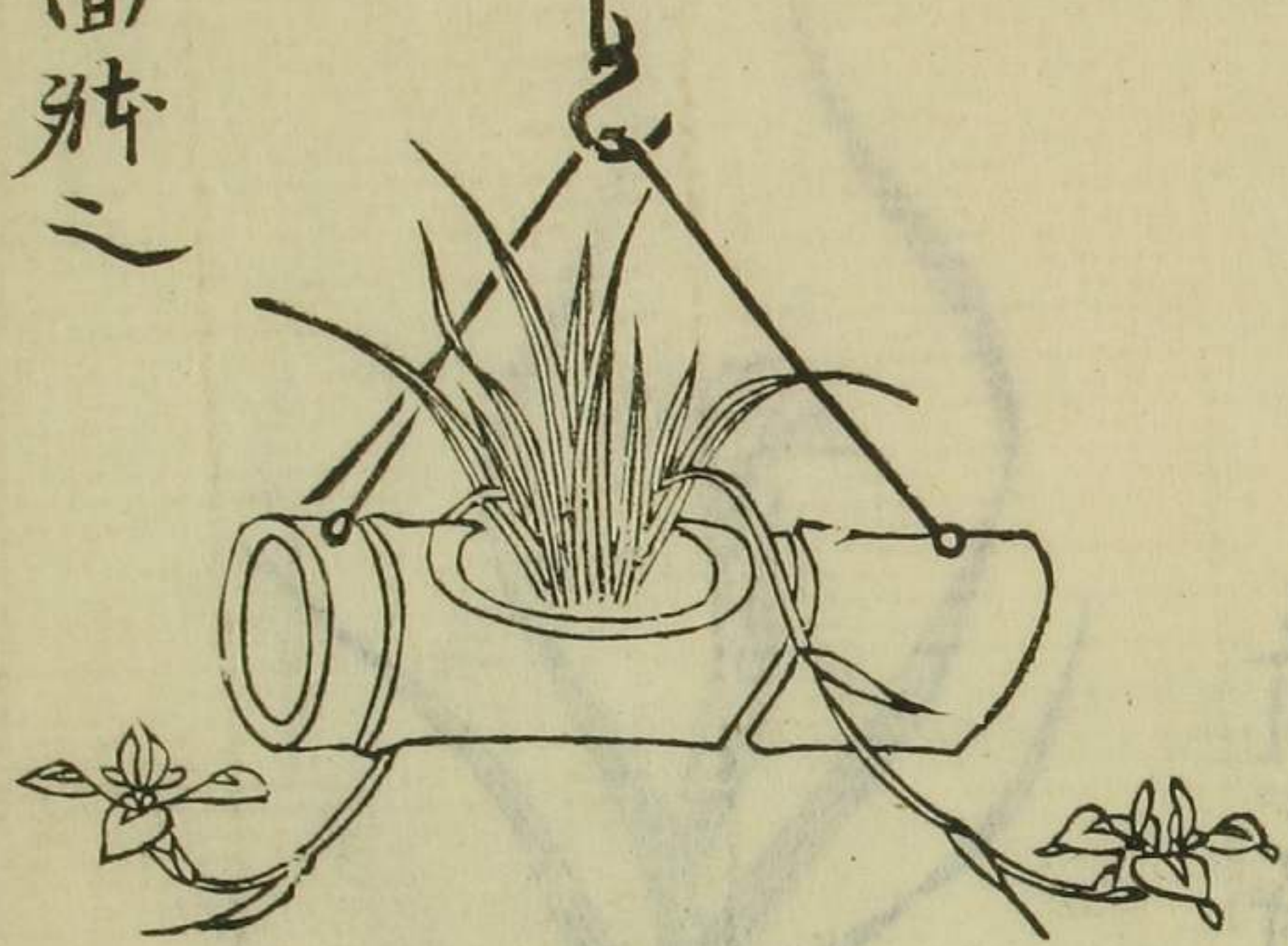


泉列岸和

栗山氏普



殘花乃曲瓶之



泉列辻村

和田鑑



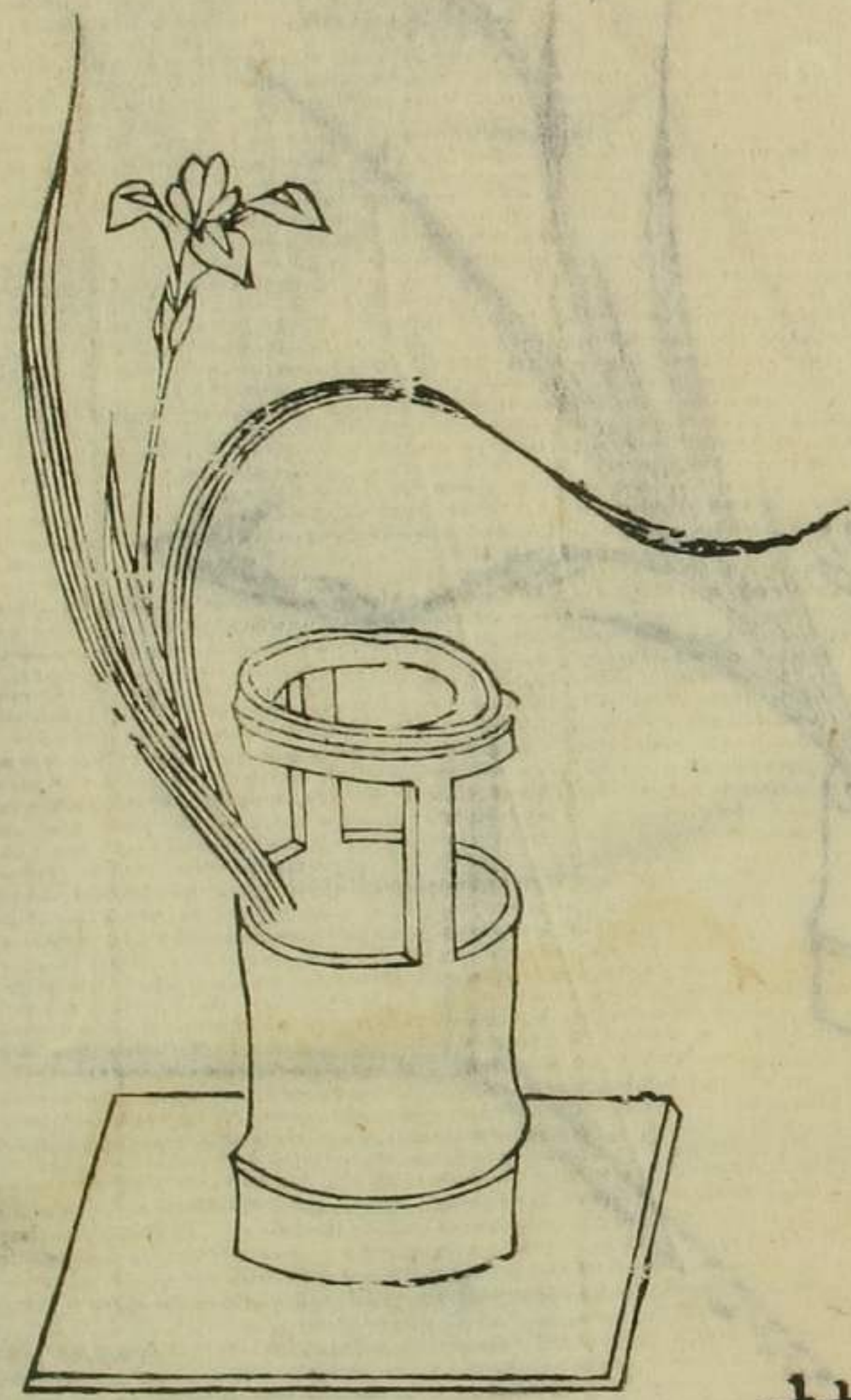
沙花之



全岸和田府

白之亭

松枝



全黑鳥

田慶新

楚洲



泉列宮村

八木亭

雅文

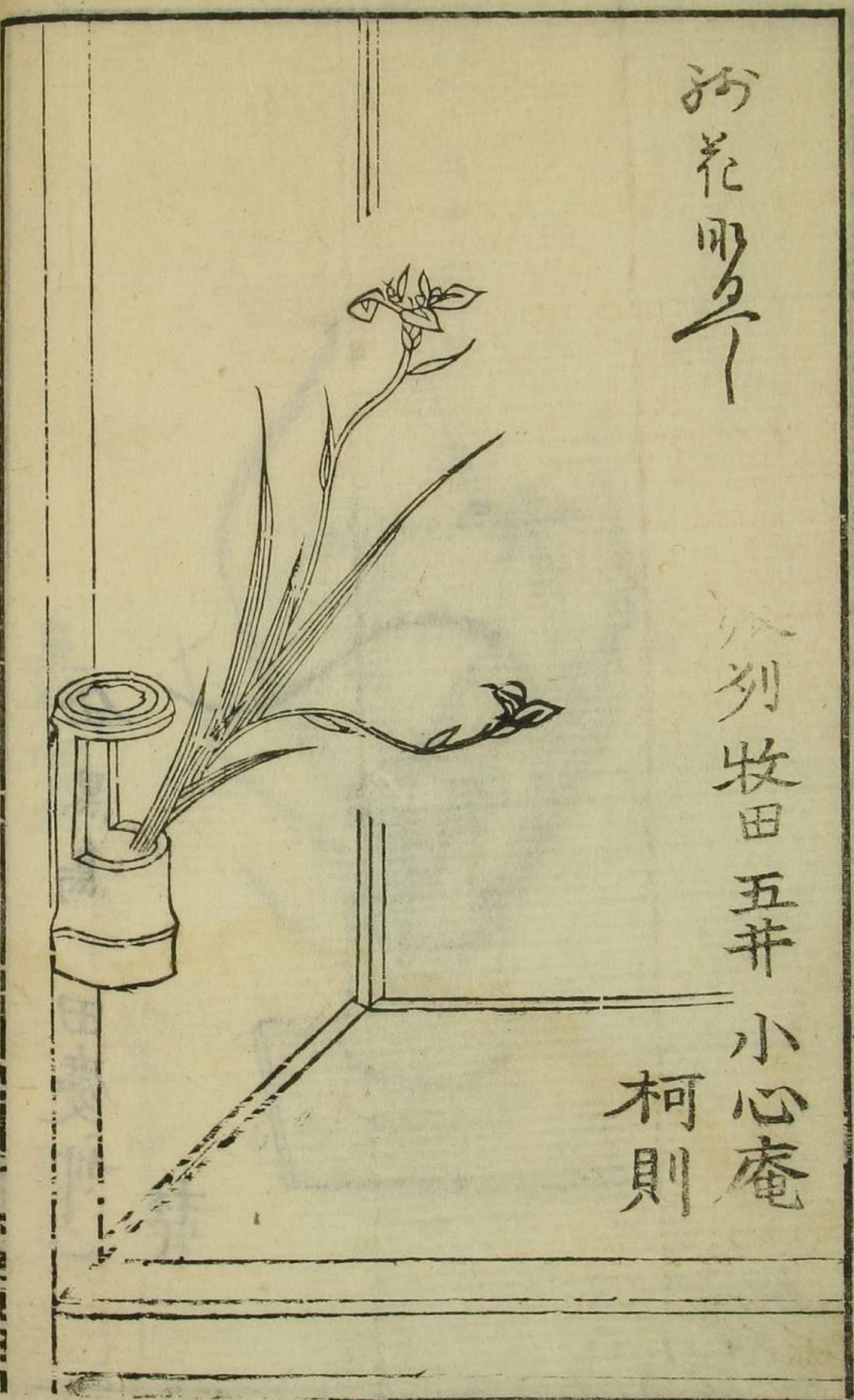


この花形初花よ
水々

泉列池田

百光庵

知哲



初花明々

八列牧田五井小心庵

柯則

妙花曲辨



全池田

古松亭

芦列

妙花之

妙花之
小野氏梨風



濃列押越 小野氏梨風

花の形
のり



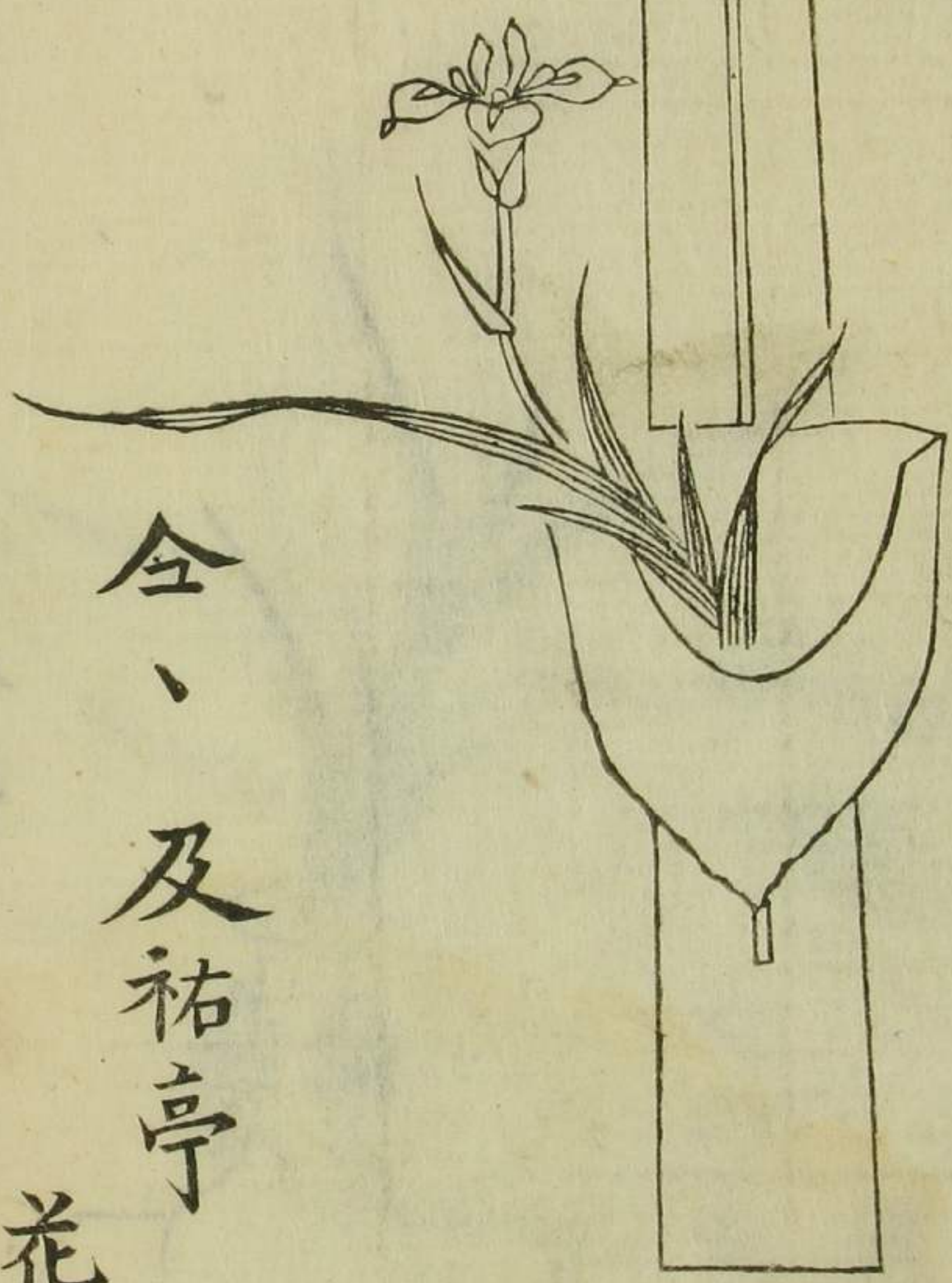
泉列後井

幹柯堂

瓶雅

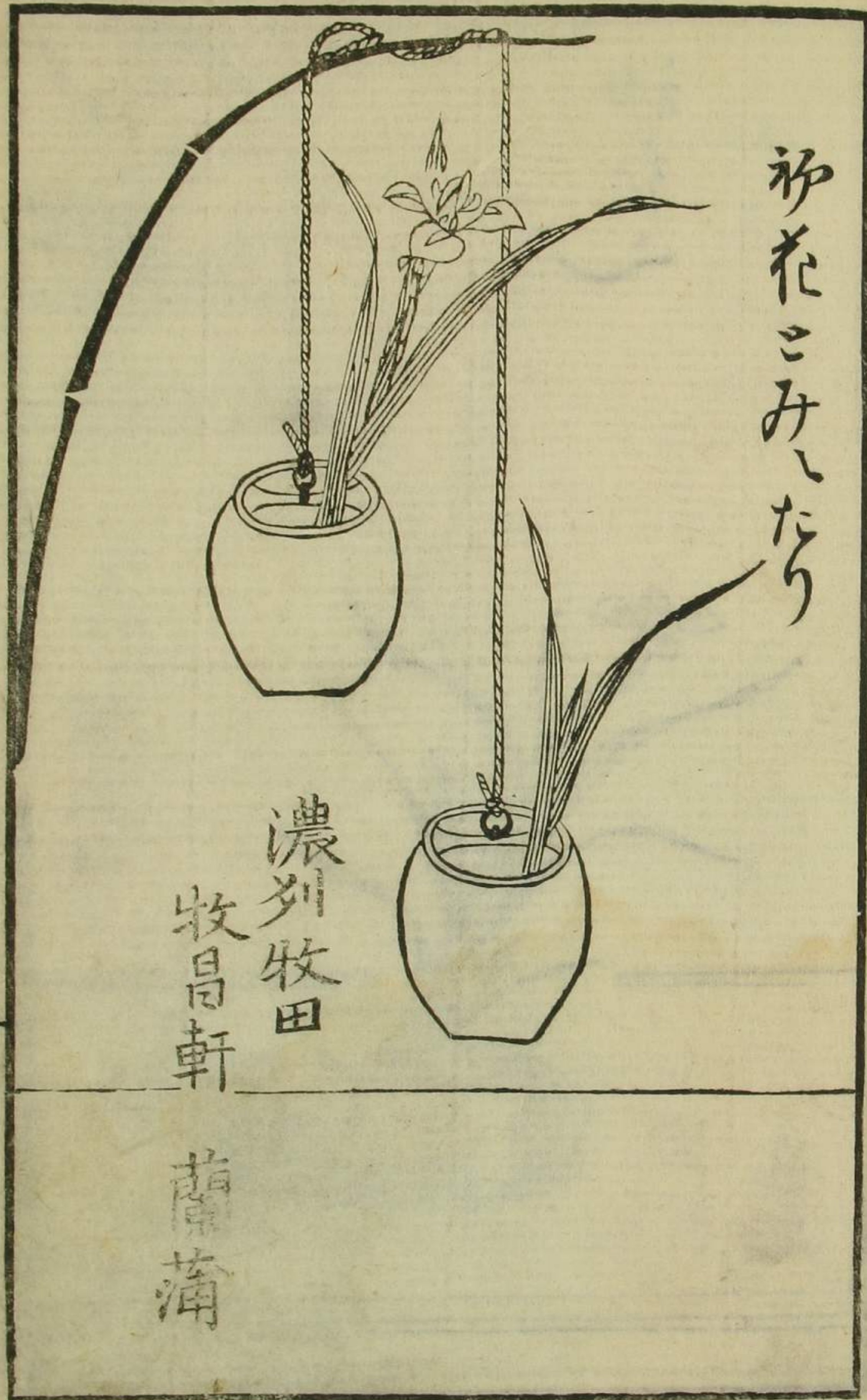


花の形
みたり



今、及祐亭

花陽



初花のみなり

濃列牧田
牧昌軒

蘭蒲

初花

泉列我孫子宮



一田研

松翠

初花之

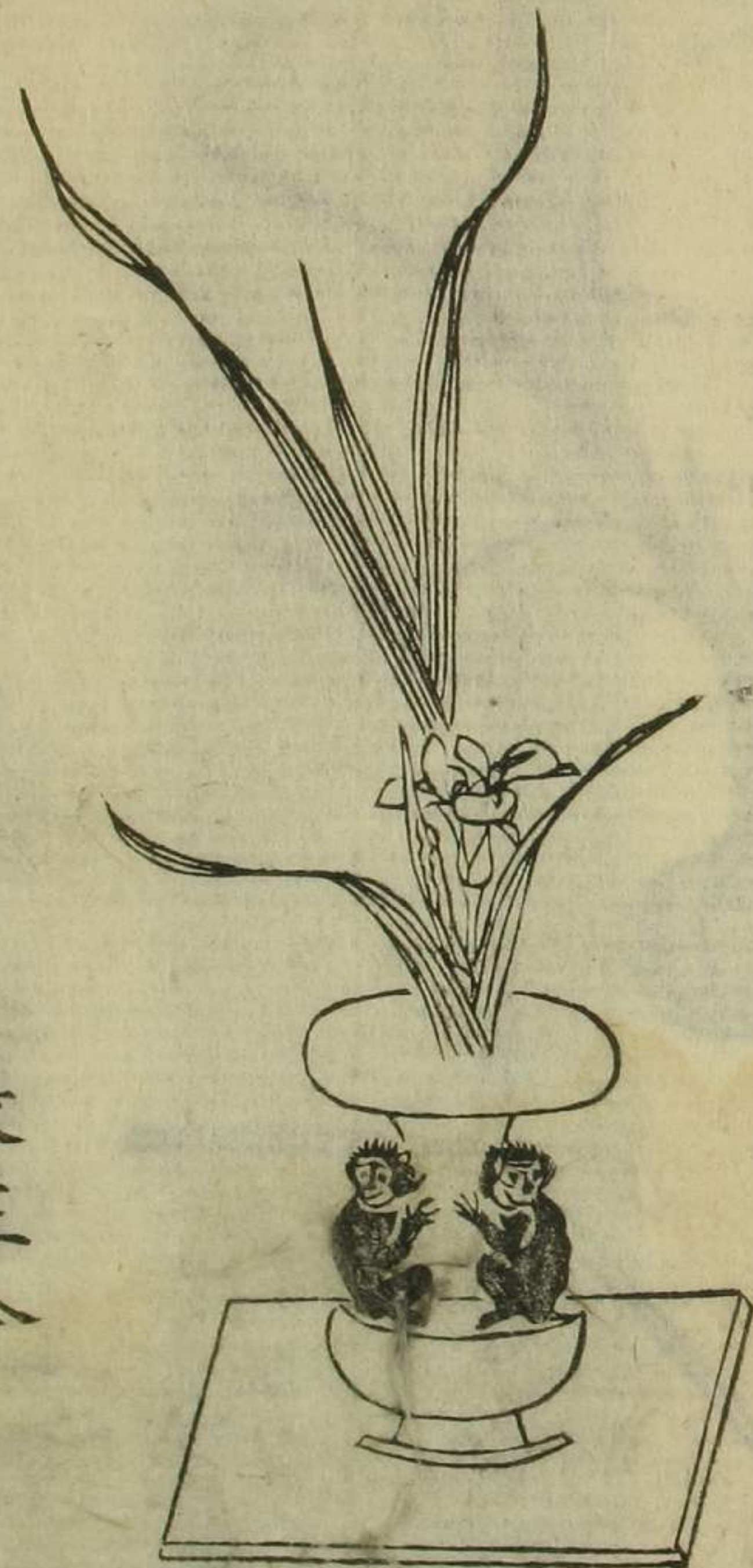


濃列牧田



皇軒
龜走

初花之



泉別
大津

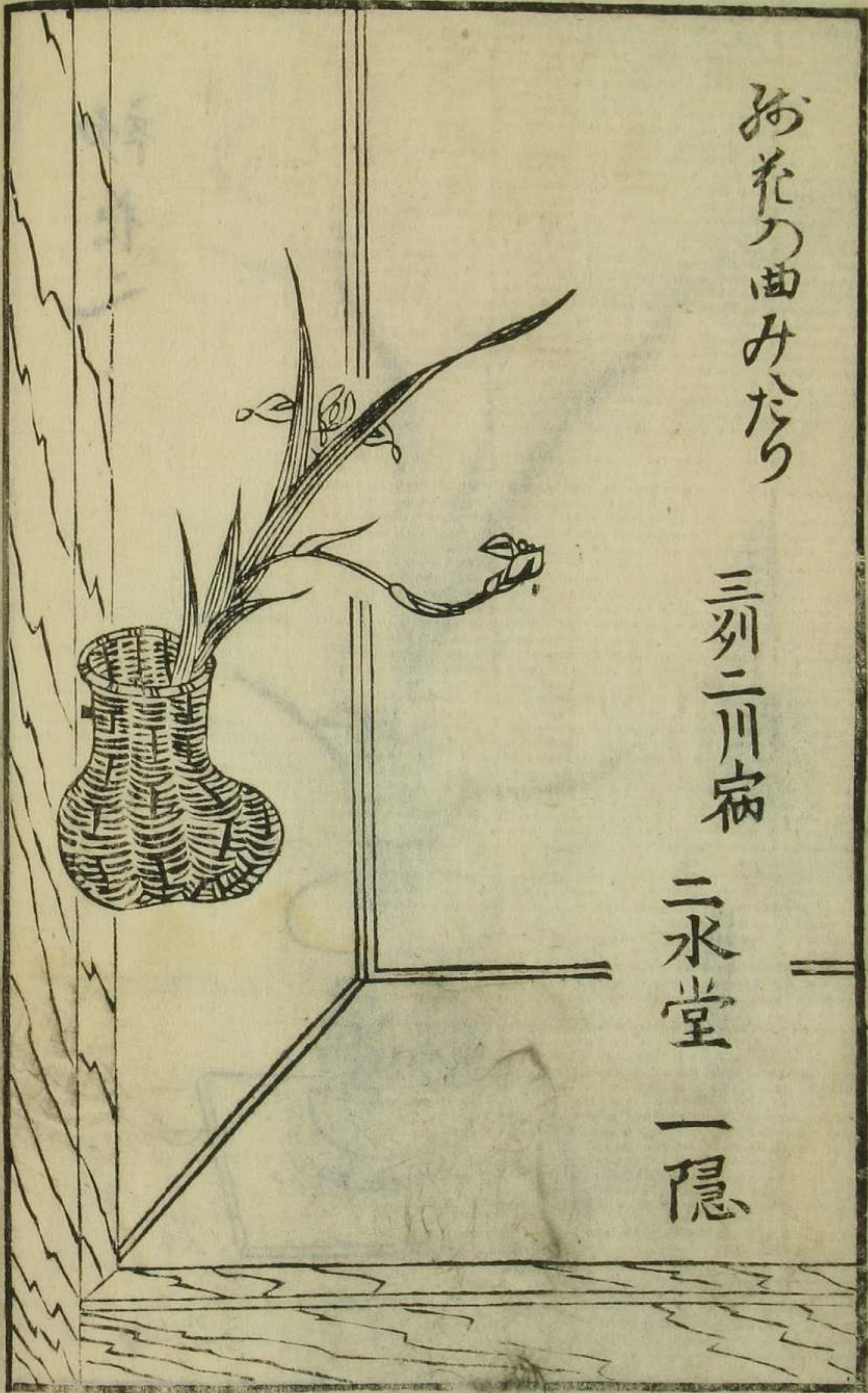
長生舍

卜生

雛花の曲みたり

三列二川宿

二永堂一隠



燕子花百瓶
混花形初盤砂

田編之紙

海之巻巻

初花のつぎ



全大津佐

八木八橋

盛花のつぎ



紀列和可浦社中

殘花
之



泉列

沙門

千光

殘花
之



泉列大津
囿花友

初花



泉列塚

桃李園止乙

盆花乃
辨みなり



泉外大
今塚
採遊堂
柯卜

盛花之

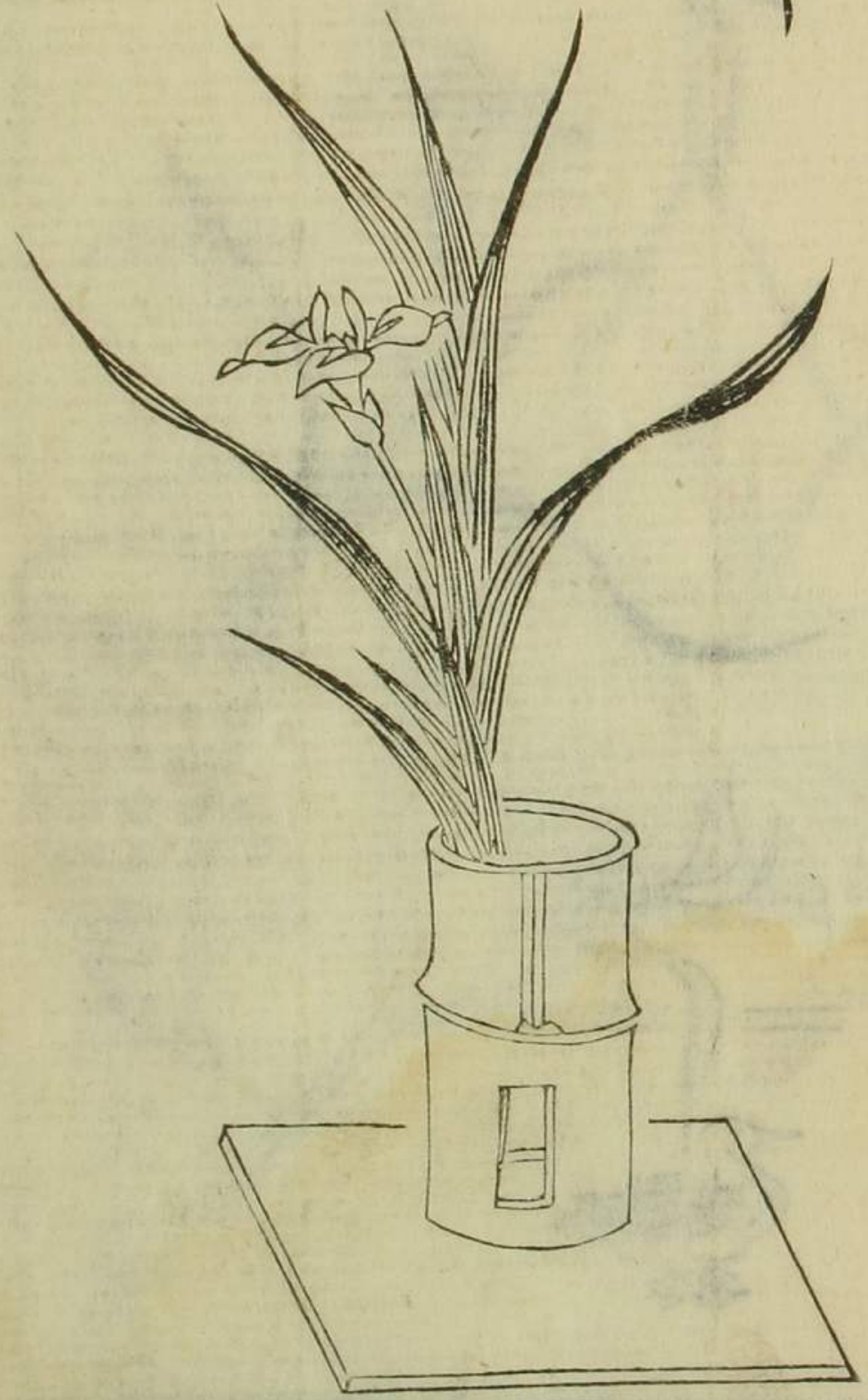


泉伯太青木燕子園
花慶

山

盛花

明



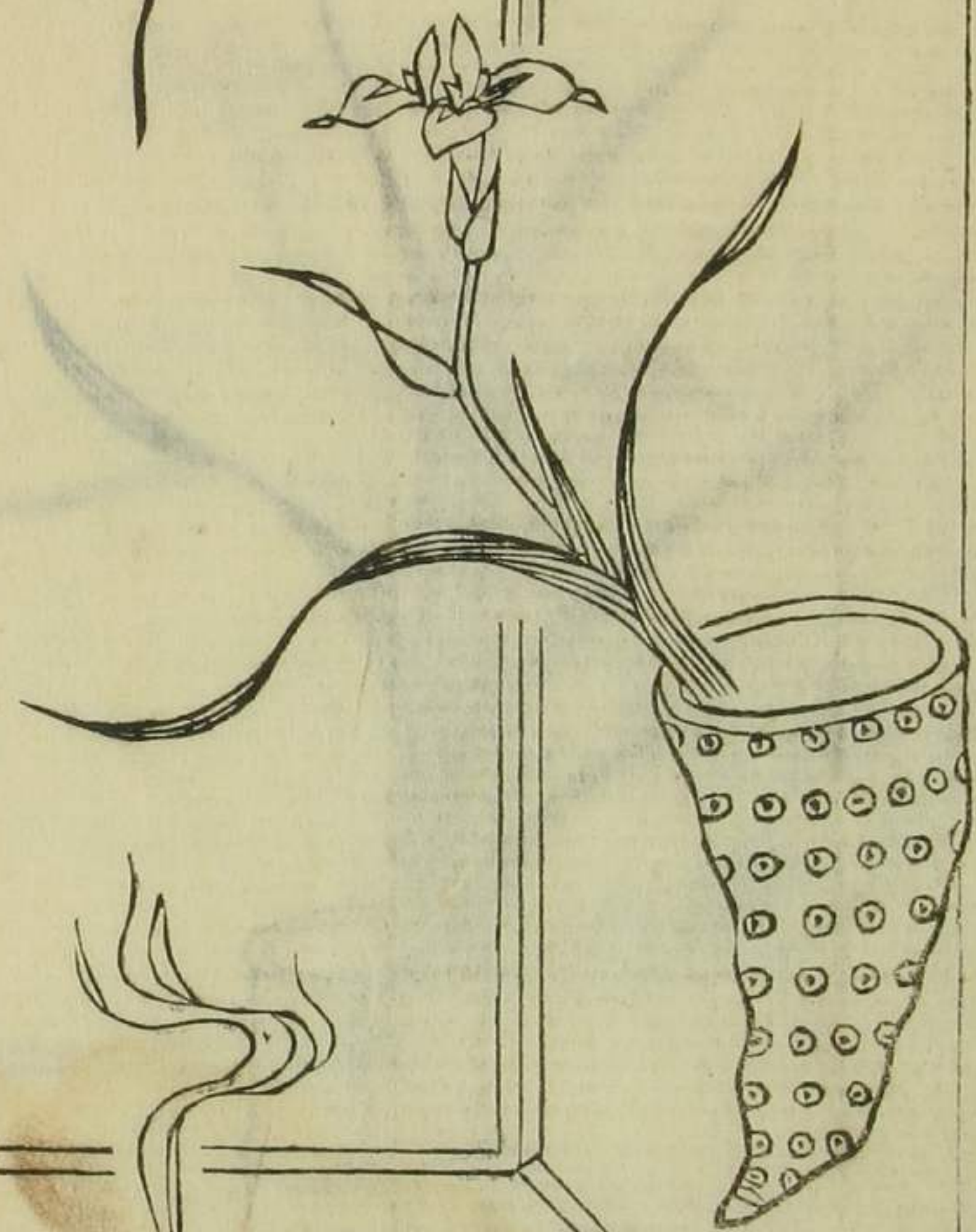
紀列日方橋爪氏
八象堂文止

曲辨
所花之



紀列黑江
原氏得恩堂虎勇

所花之



全堺

春里庵

枝英



洲花の曲こ

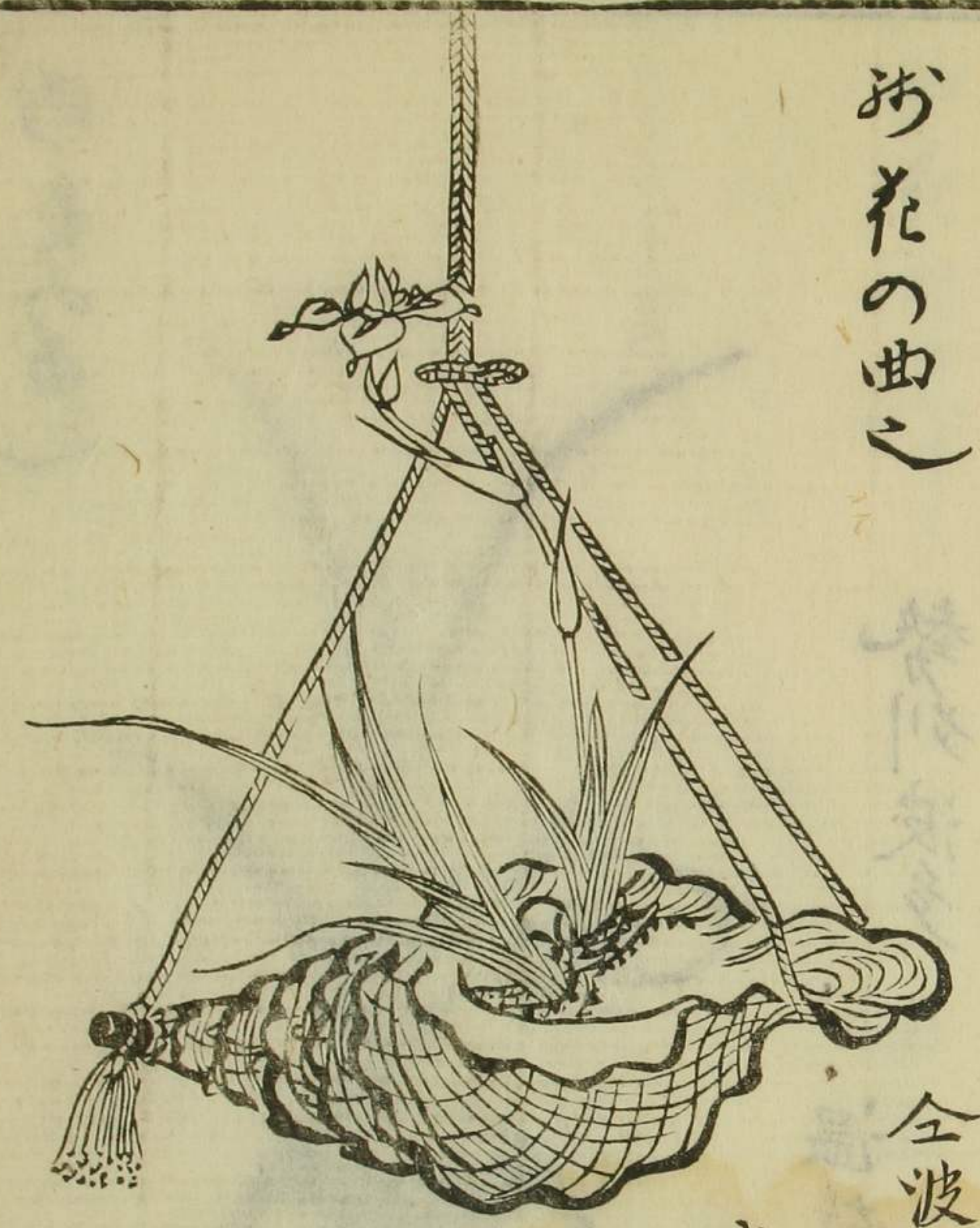


勢列波多

雲峯館

閑月

洲花の曲こ



全波多

鳶穴窠亭

蘭溪

お花の曲こ

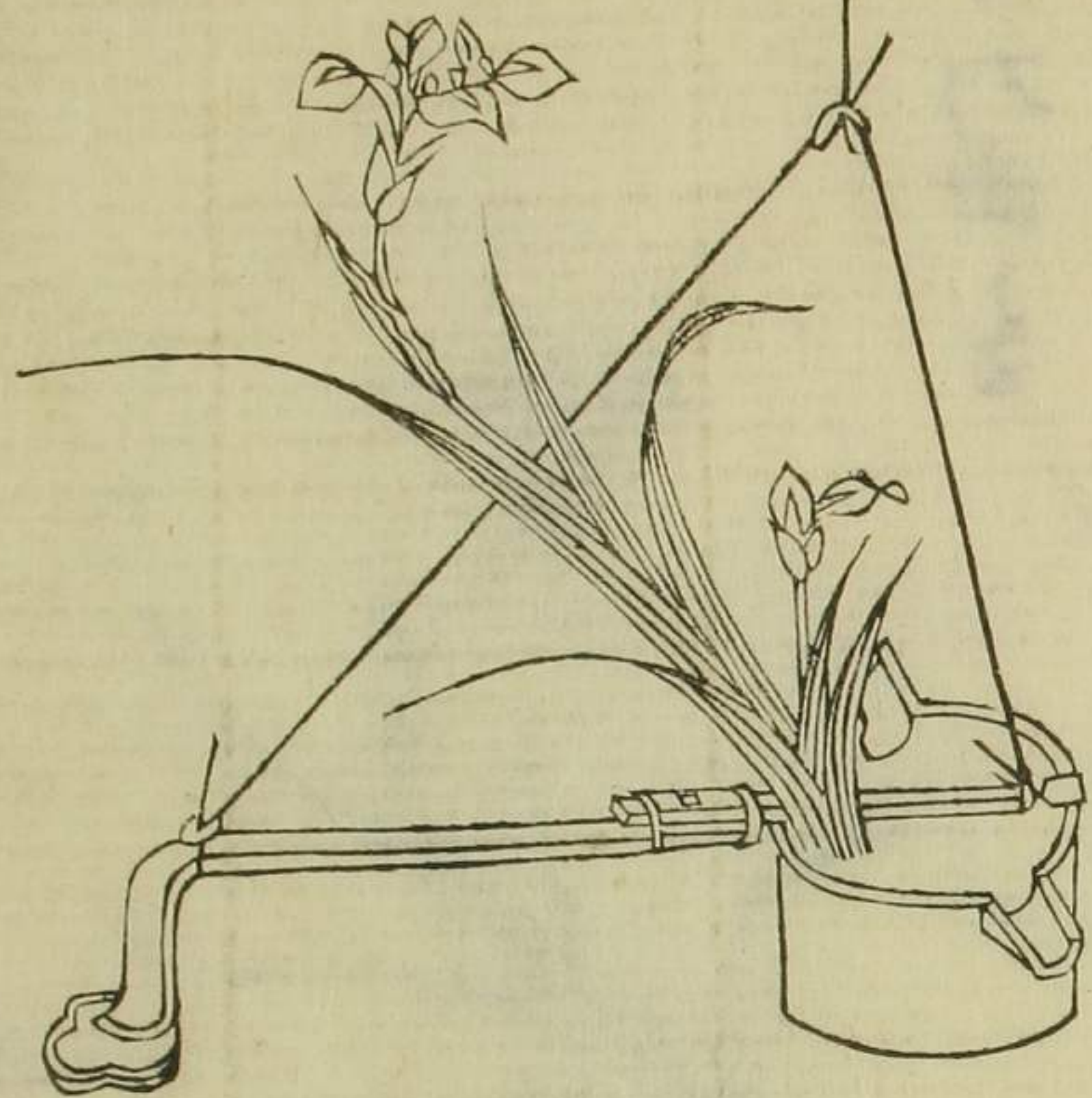


勢列波多

温故亭

圖山

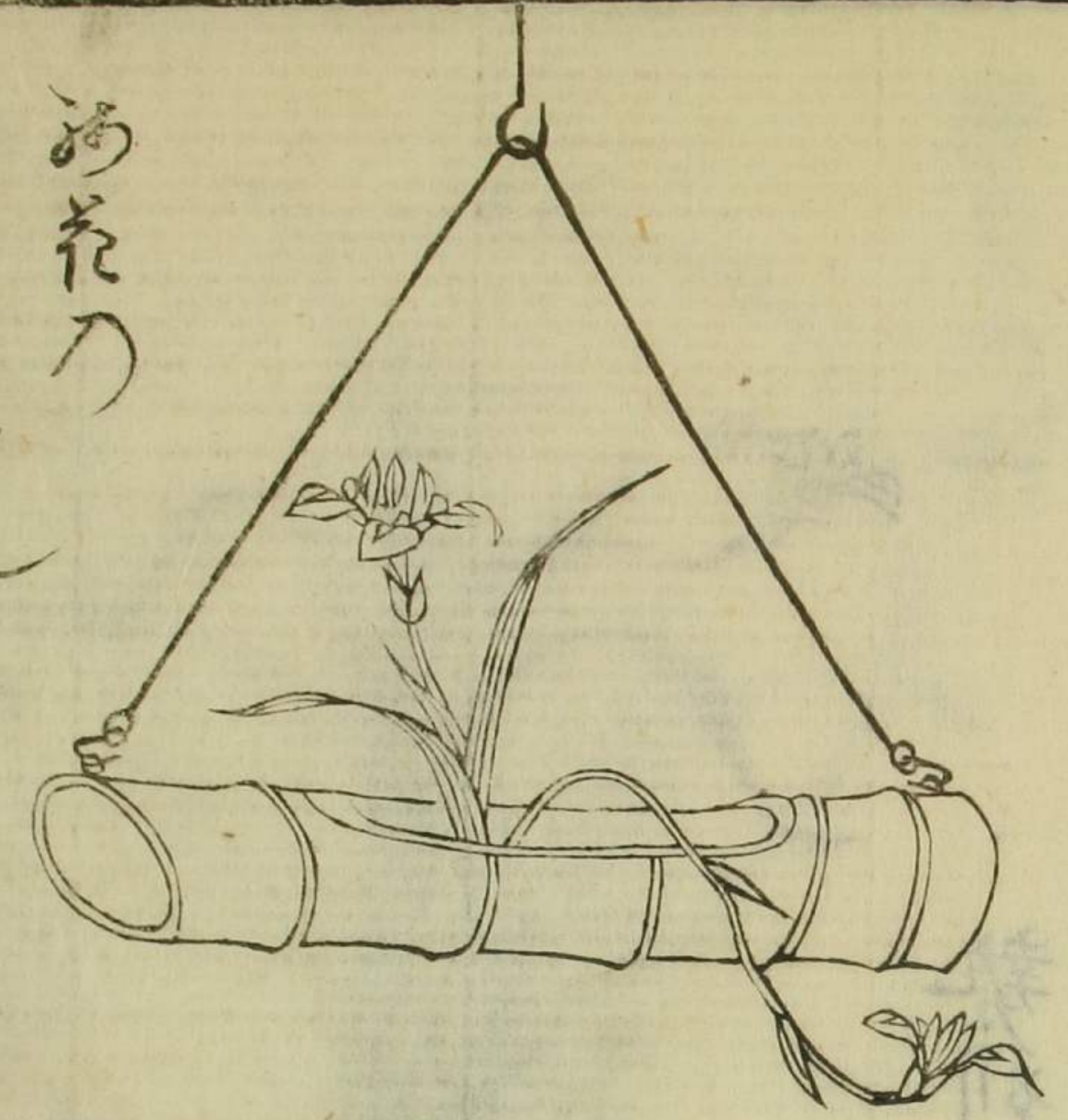
初花のつた



全庄村

大倉器公

海花刀
曲游



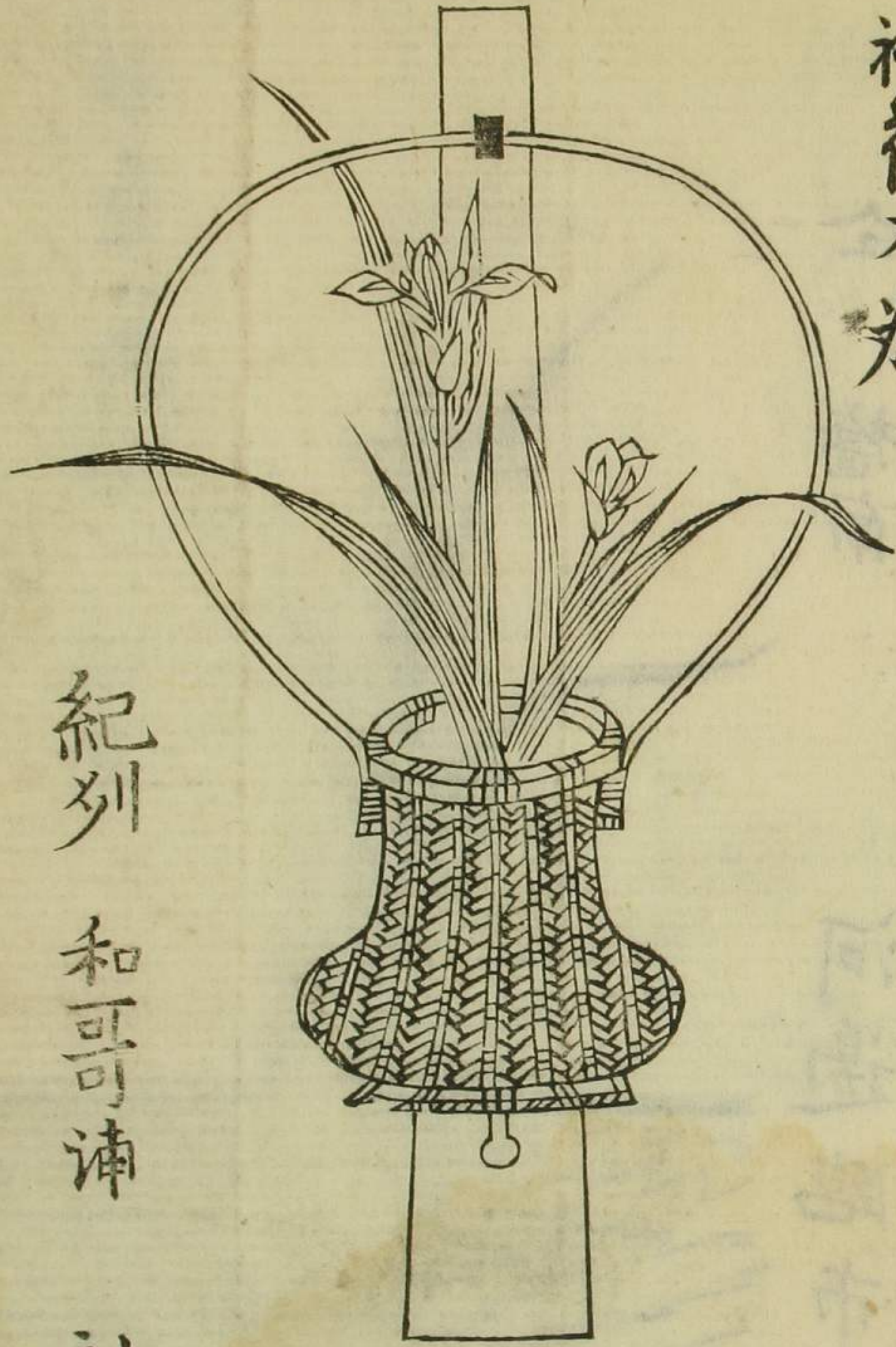
勢列七栗卿
森邑
金輪堂
桃楚

海花刀曲



全庄村
中條並枝

神花乃辨



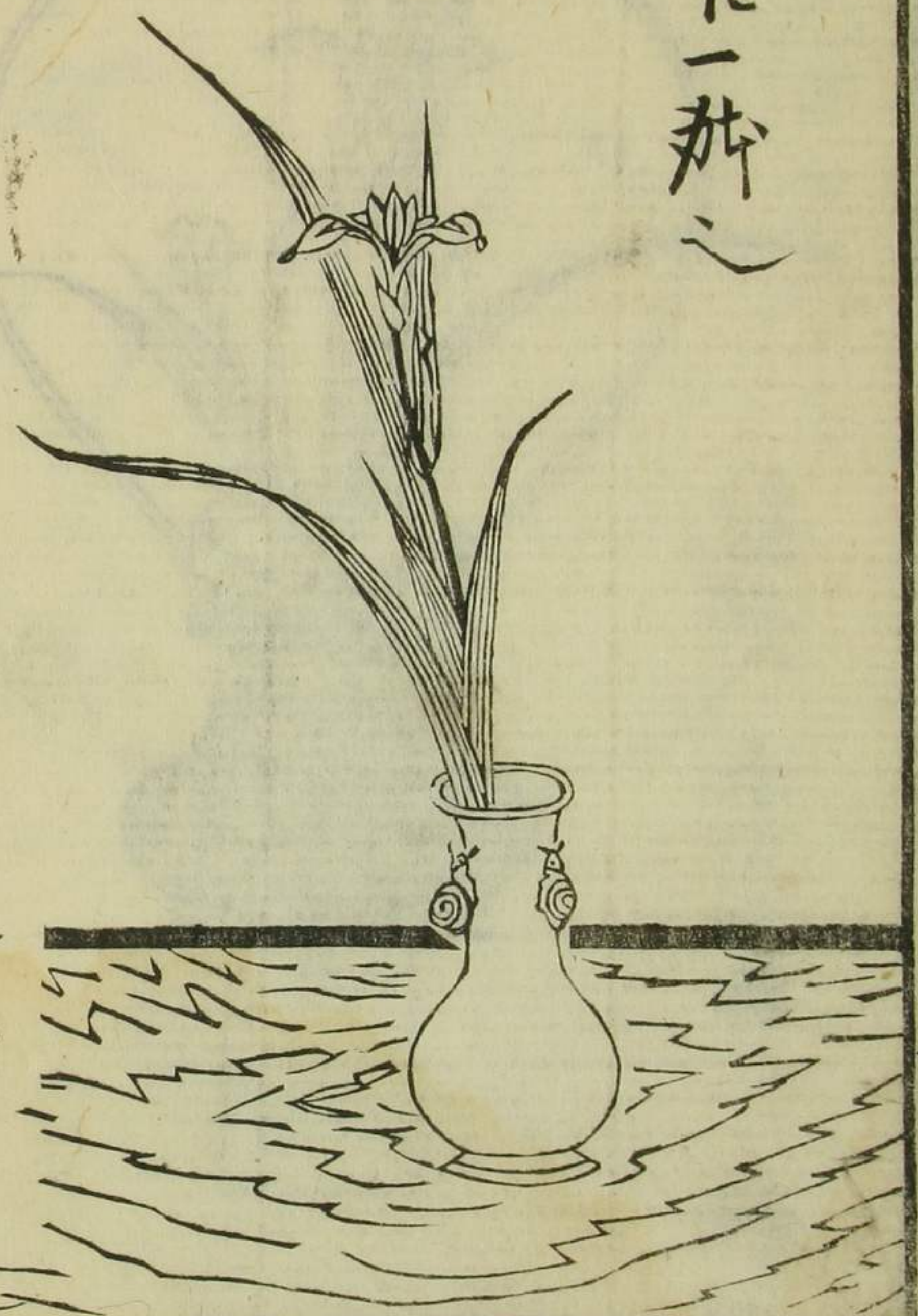
紀列
和可浦
社中

海花乃曲町



勢列
曾原
林氏
正好

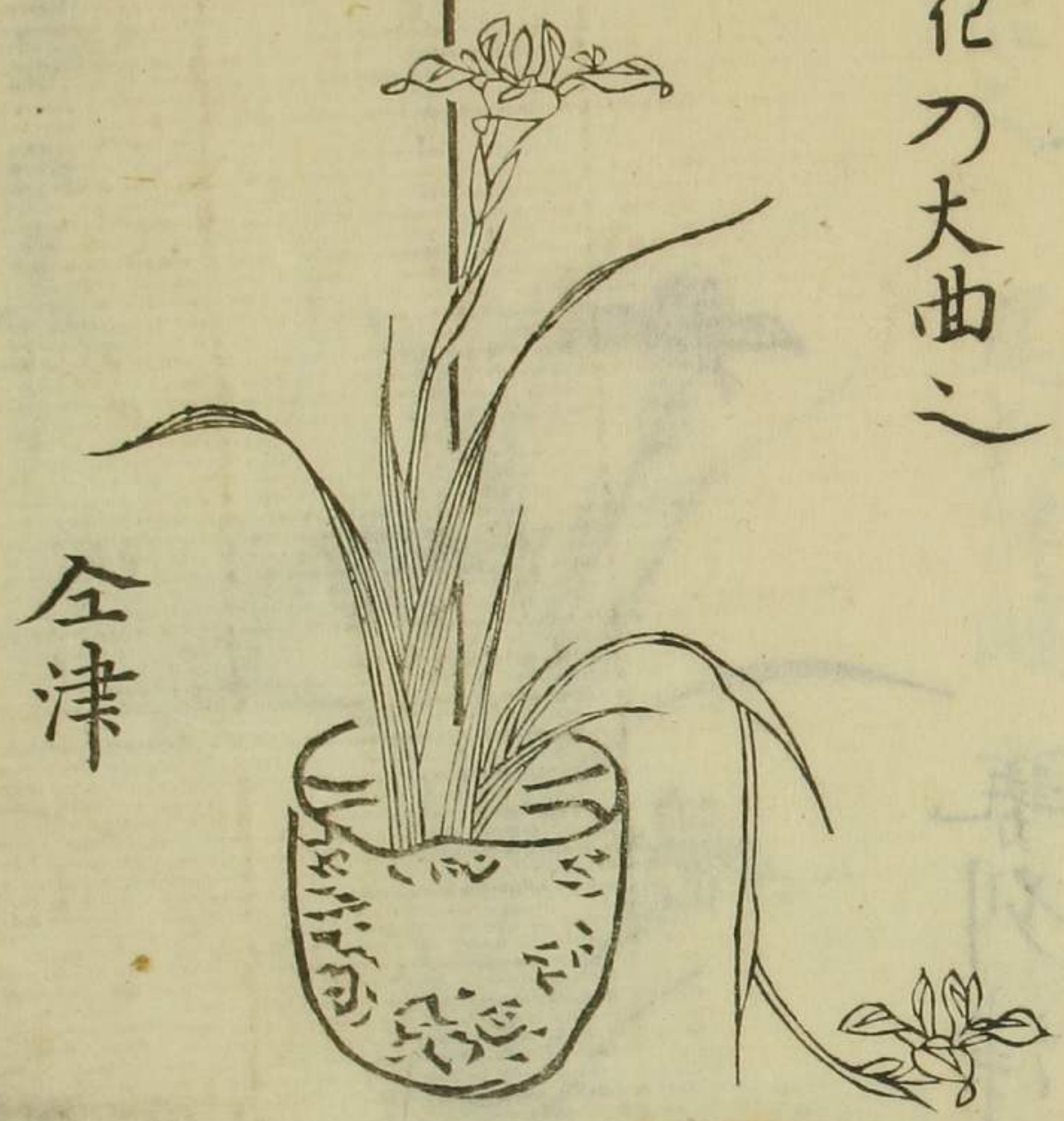
初花一辨之



全津橋南

河邊臨市

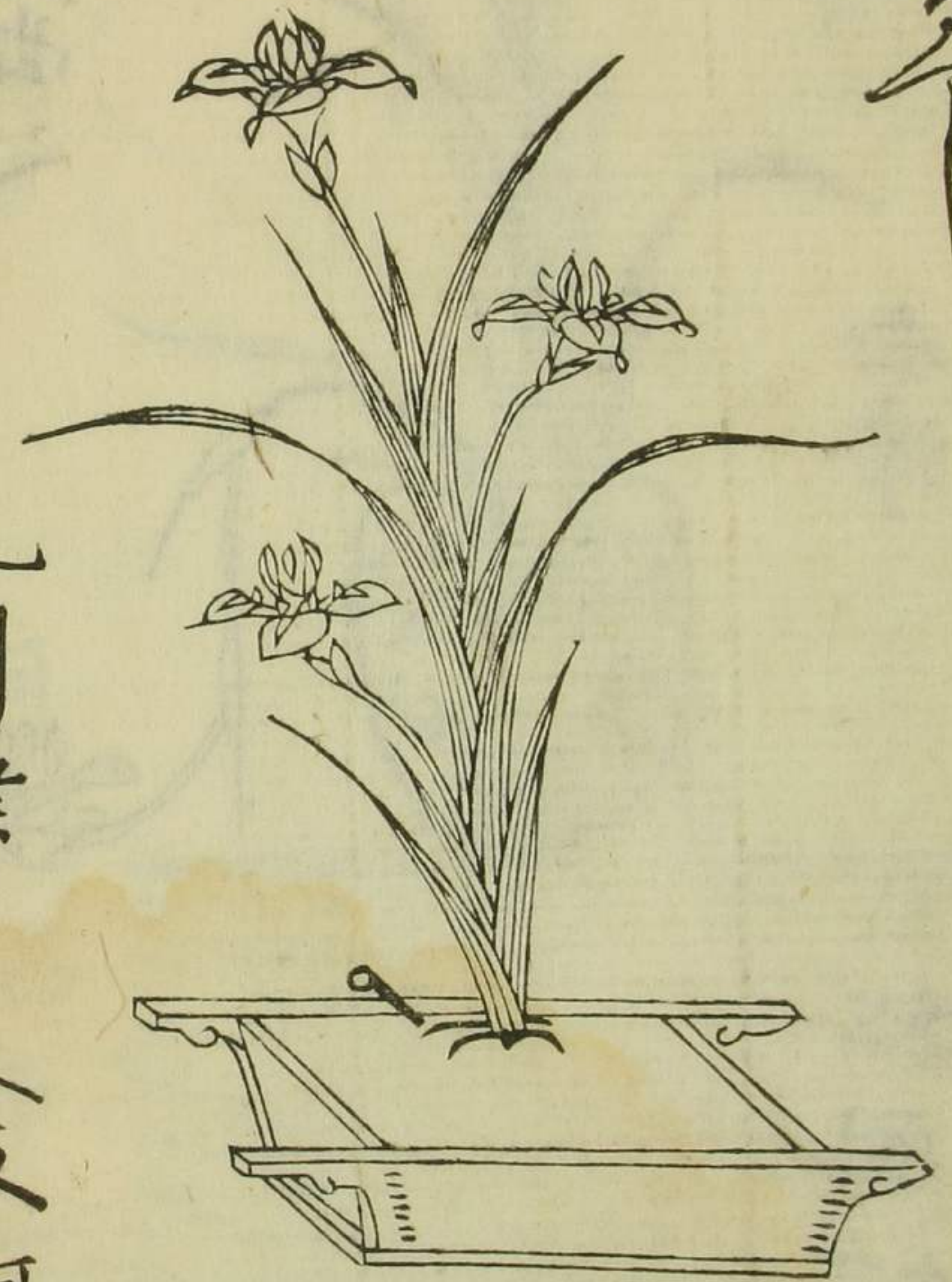
沙花乃大曲之



全津

松岡竹里

盆花のついで



勢列津 友枝柯交

盆花之 尾列津嶋 藤浪館主人吾聞





蓋花
みり

濃列押越沙門

玉樹堂

甘之香



蓋花の十

濃列押越住

竹光井

巴底

蓋花の十
風吹草動
香泉
主人
吾
開

東都本所一時庵

卜丈



燕子花百體

内編之餘頁

海雲堂普日法筆

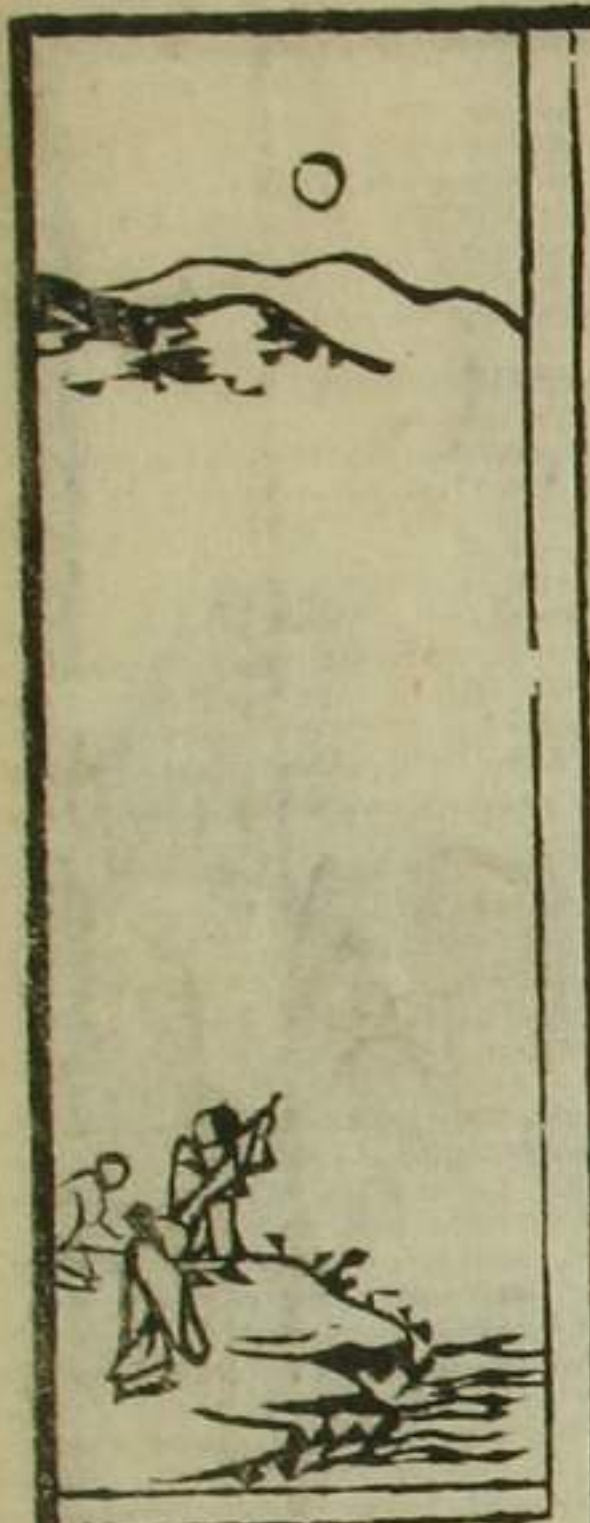
ちしそみよつ門さも同ー燕子花
 美ふと崩すともりしみの深りよ 丑大坊ト女

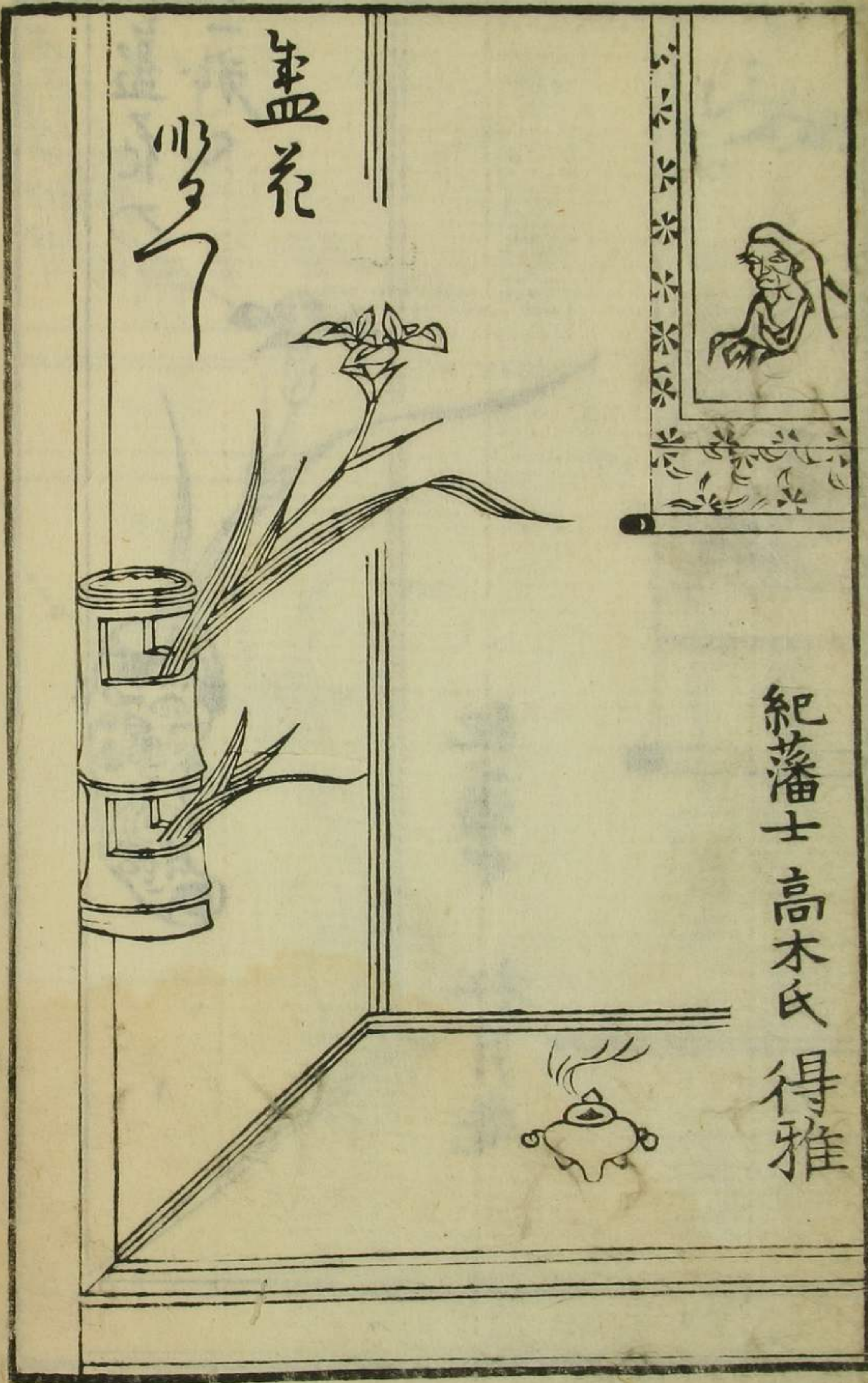


一花の
 盆花の



紀藩中
 松月庵





盆花



紀藩士高木氏得雅

不日

